

公開シンポジウム「食育の現状と大学附属農場等の果たすべき役割」
の開催について

1. 主催 日本学術会議農学基礎委員会 農学分科会
全国大学附属農場協議会
2. 共催 (独)農畜産業振興機構
3. 後援 文部科学省、厚生労働省(予定) 農林水産省、JA全中、雪印乳業
4. 日時 平成19年5月11日(金)13:00~16:30
5. 場所 日本学術会議 講堂
6. 次第

開催趣旨

平成17年6月に食育基本法が制定され、それを受けて平成18年3月に食育推進基本計画が決定され、現在国をあげて食育に取り組んでいる。関連する各省庁においても、子どもの健やかな成長、メタボリックシンドロームの克服等を目指して、「早寝早起き朝ごはん」、「健康日本21」、食事バランスガイドを活用した「日本型食生活」などを国民運動として展開している。

日本学術会議農学基礎委員会農学分科会に集う研究者はフィールドを研究現場として活動している者も多く、子どもたちの体験学習等の食育にも関わっている。また、全国大学附属農場協議会に加盟する53大学の附属農場、フィールド科学センター等においても、長年の教育・研究活動を通して蓄積された経験をもとに作物の生産や家畜の飼育などの体験を通じた食育活動を展開している。

本シンポジウムにおいては、現在進められている食育の取り組みについて紹介するとともに、国民と連携した今後の推進方向と、大学、特に食料生産から消費までを通じた実践的総合教育・研究を行っている大学附属農場等の食育における果たすべき役割を明らかにする。

開会あいさつ：大杉立(東京大学大学院教授、日本学術会議連携会員、
日本学術会議農学分科会委員長、全国大学附属農場協議会副会長)

講演(13:10~16:00)

- (1) 基調講演
服部 幸應((学)服部学園理事長)
「食育のすすめ」
- (2) 松本 幹治(雪印乳業)
「民間企業における食育の取り組み」
- (3) 萬田 富治(北里大学獣医畜産学部教授、全国大学附属農場協議会会長)
「大学附属農場協議会としての取り組みの概要」
- (4) 本杉 日野(京都府立大学農学部教授)
「ユーカーチャーデー」および「おいしい朝食 成績アップ事業」
- (5) 中司 敬(九州大学農学部教授)
「芸術文化を取り込んだ先導的な食育と地域農産物のブランド化」
- (6) 三枝 正彦(東北大学大学院教授、日本学術会議連携会員、
日本学術会議農学分科会委員)
「題未定」

(7) 高橋 均 (東京大学教育学部附属中等教育学校教諭)
「食育に関する大学附属農場等への期待」

討論 (16:00 ~ 16:30)

閉会あいさつ: 萬田 富治 (北里大学獣医畜産学部教授、全国大学附属農場協議会会長)

参加申込方法

E-mailもしくはFaxにて必要事項(氏名、所属、連絡先電話番号、E-mailアドレス)をご記入の上、以下の問い合わせ先担当宛、お申し込みください。

居城幸夫

宇都宮大学農学部教授(附属農場) 園芸生産技術学研究室
全国大学附属農場協議会食育プロジェクト課題化推進企画調整室
〒321-4415 栃木県真岡市下籠谷443
Phone/Fax : 0285-84-1254(直通)
e-mail : ijiro@cc.utsunomiya-u.ac.jp

* 定員(300名)となり次第、締め切りとさせていただきます。